

一身田支部が大事にしていること☆彡

- ・保育園では、園児だけでなく先生が間に入り、横のつながりを深めることを大事にしています。
- ・小学校では、普段からも本音で話し合い、よりよい集団を築いていけるように意図的にそういう場をつくることを大事にしています。外国につながる生徒の理解を深めるためにその子のことを知ることを大事にしています。具体的には、外国につながる生徒の国の文化や言葉などを知ることを行っています。差別や偏見、誹謗・中傷などの発言が出た場合は、その場で立ち止まらせてどうしてそんなことを言ったのかを見つめる場面をつくることを徹底しています。
- ・中学校では、特別支援教育に対する理解を深め、大切にし、ともに学び、支え合っていく関係を各学級で大事にしています。また、一人ひとりの持ち味が生かされる集団をつくることを大事にしています。
- ・地域では、「誇れる地域」「誇れる学校」という理念のもと、子どもたちを支えたり、一人一人を大事にした関わりをしています。

一身田支部の活動について☆彡

- ・地域人権啓発の一つとして、「一身田中学校区人権フェスティバル」を12月に開催しており、地域人権啓発事業と一身田中学校区小中一貫人権教育部会と共催という形で参加しています。
  - ・教職員の人権研修のために年に1回、もしくは2回人権講演会を行っています。
  - ・中学校では、学力向上のために地域団体「サポーターいっちゅう」が主催で、「ナイトスクール」を北部市民センターで行っています。
  - ・地域の人権課題、学校の人権課題を共有、改善していくために一身田支部の会議を定期的に行っています。
  - ・小中学校の代表が集まり、身近な人権課題について考え、深め合う「校区人権フォーラム」を行っています。
  - ・「誇れる地域」にするために年2回、寺内町を地域に関わるみなさんと清掃を行っています。
- ※校区人権フェスティバル、寺内町環濠清掃、ナイトスクールは、コロナウイルスの感染拡大防止のため、今年度は開催できていません。校区人権フェスティバルの代わりに人権啓発新聞を発行します。



↑ 今年度、行う予定であった人権フェスティバルのしおり。



↑ 昨年度の寺内町環濠清掃の様子

